

## 【議事要旨】

会 議 名	令和3年度第1回港区指定管理者選定委員会
開 催 日 時	令和3年7月28日（水）午後1時30分から午後4時30分
開 催 場 所	庁議室
委 員 員	<p>■出席者</p> <p>（委員長）大澤企画経営部長 （副委員長）新宮総務部長</p> <p>（委員）西川企画課長、宮本区役所改革担当課長、若杉財政課長、荒川総務課長、加茂契約管財課長</p> <p>（説明員）高嶋芝地区総合支所管理課長、櫻庭麻布地区総合支所管理課長、白井赤坂地区総合支所管理課長、山本高輪地区総合支所管理課長事務取扱、山本芝浦港南地区総合支所管理課長、金田高齢者支援課長、野上保健福祉課長、太田地域振興課長</p>
事 務 局	企画経営部企画課
会 議 次 第	<p>審議事項</p> <p>1 指定管理者の選定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 芝地区港区立いきいきプラザ【資料1】</li> <li>・ 麻布地区港区立いきいきプラザ【資料2】</li> <li>・ 赤坂地区港区立いきいきプラザ【資料3】</li> <li>・ 高輪地区港区立いきいきプラザ【資料4】</li> <li>・ 港区立神明子ども中高生プラザ【資料5】</li> <li>・ 港区立高輪子ども中高生プラザ【資料6】</li> <li>・ 港区立芝浦アイランド児童高齢者交流プラザ【資料7】</li> <li>・ 港区立特別養護老人ホームサン・サン赤坂、港区立高齢者在宅サービスセンターサン・サン赤坂、港区立赤坂子ども中高生プラザ、港区立赤坂子ども中高生プラザ青山館【資料8】</li> <li>・ 港区立公衆浴場ふれあいの湯【資料9】</li> <li>・ 港区立区民斎場やすらぎ会館【資料10】</li> </ul>
配 布 資 料	<p>（公募施設）資料1から資料8</p> <p>資料○ 指定管理者候補者選定調書</p> <p>資料○-2 指定管理者候補者選考委員会報告書</p> <p>資料○-3 指定管理者応募者提案内容の比較表</p> <p>資料○-4 職員配置表</p> <p>資料○-5 選考委員会採点表</p> <p>資料○-6 選考委員会議事録</p> <p>資料○-7 指定管理者指定申請書（他、添付書類等）</p> <p>（非公募施設）資料9から資料10</p> <p>資料○ 指定管理者候補者選定調書（非公募用）</p> <p>資料○-2 指定管理者指定申請に対する審査表</p>

	資料〇-3 職員配置表 資料〇-4 指定管理者指定申請書（他、添付書類等）
会議の結果及び主要な意見	
（意見者）	
山本芝浦港南 地区総合支所 管理課長	・港区立芝浦アイランド児童高齢者交流プラザ （資料について説明）
大澤委員長	選定調書の3ページ目の収支計画を見ると、修繕費が令和4年度だけ、他の年度より3倍近く大きくなっているが、何か予定している修繕等があるか。
山本課長	施設が開設から15年経ち、軽微な修繕として指定管理料の範囲で床と壁紙の一部について張りかえをするため、令和4年度だけ高くなっている。
宮本委員	選定調書の選考のポイントの記載をもう少し具体的かつ詳細に記載したほうがいい。
山本課長	承知した。資料を修正する。
大澤委員長	選定調書の選考のポイントについて、（5）指定管理者として安心して施設を任せることができる事業者であると考えられるとあるが、委員の感想になっているので、選考のポイントとして他の記載をしたほうが良い。
山本課長	承知した。資料を修正する。
若杉委員	収支計画について、職員人件費が決算と比べてかなり増加している。人数が純増している。非正規職員を正規職員に移したこともあり、両方影響していると思われる。学童定員は決まっていると思われるので、人員増の必要性について確認したい。提案額の上限ということで、最終的に、金額は予算編成の中でまた精査させていただきたい。
山本課長	人件費増という部分について、常勤職員が5名増、非常勤職員が2名増という形で提案を受けている。子育てひろばの充実を図ることと、小中高生の居場所づくりのために力を入れていきたいということ、障害児対応が確実に増えることを見込んでの増、全体の児童数の増についても対応していきたいという提案があった。また、高齢者の担当の体制を強化し、様々なプログラムを充実させたいという思いもあると聞いている。 ただ、安全・安心の部分や、魅力的な施設運営を行う上で本当に必要な人材と体制なのか、今後事業者と協議していかなければならないと考えている。
若杉委員	地域のトピックで芝浜小学校の開校があると思うが、もし何か地域の事情をよく熟知している点が提案の中にもしあるとすれば、教えていただきたい。

山本課長	芝浜小学校の開校や児童の増加を踏まえ、学校との連携を細やかに実施するとともに、児童担当の体制を強化するということから地域の事情を熟知していると考えている。また、水辺の自然環境を活用した事業、芝浦工業大学や近隣の企業との連携事業など、地域特性をよく理解した提案となっている。
西川委員	障害者雇用率が未達成となっているが、達成に向けてどのように事業者に働きかけていくか。
山本課長	障害者雇用率の達成に向け、事業者との定例的なモニタリングや会議等を通じて、定期的かつ継続的に働きかけていきたい。
大澤委員長	他にないようであれば、本件については了承ということでよいか。
(全員)	異議なし。